

京都労山

2025年12月号

No. 390

発行日

2025年11月17日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

12月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 事務局	0 1
* 事務局長会議報告	0 2
* 八丁平視察報告	0 3
* 積雪期搬出訓練の案内	0 5a
* 冬山連絡会	0 5b
* 冬山勉強会山行報告	0 6
* ヒヤリ・ハット取りまとめ	0 7
* 大文字山登山道整備活動の案内	1 0
* 能登半島地震被災者支援活動の報告	1 1
* 大文字山登山道整備活動の報告	1 3
* 全国連盟第37回総会の招集について	1 4
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第58回伯母子岳	1 6
* 12月号の案内	1 7
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

ステップアップ

11月8日「2025交流会、開催される」

60周年記念事業のテーマ「交流—各会・世代間での経験、技術の継承」にそった交流会とし、プレ事業の一環として企画された。今年度の担当のやましな、WAO 亀岡、左京のメンバーで、ライン会議という形で討議を重ね、全体の60周年記念事業委員会に報告しながら準備を進めた。

メイン会場は「西本梅小学校」跡の南丹市「あかまつの丘」、山行はるり溪「深山」と決まった。全体で119名もの参加があり、当日は秋晴れ絶好の登山日和となった。午前の「深山」登山は、90名がチャレンジし眺望のよい稜線歩きを楽しんだ。午前の研修集会は29名の参加があり、各会での学習活動、会員拡大について突っ込んだ討議となった。午後からの全体集会は、「初級登山学校」、「全国ハイキングリーダー学校」、「ヒヤリハット」について報告があり、最後に労山レジェンドによる体験談、トレーニング方法について発表があった。

午前の研修集会では、ザック balan に各会からの生の声、悩みが聞けてよかった。特に、中村会長から「西山ハイキングクラブ」が実践している三段階の会委員教育システムについて、伏見山の会田原さん(前理事長)からは会員が望んでいる事を教えていくという山の会での運営のポイントが聞けて、この研修会を開いてよかったと感じた。午後から全体集会は、発表者の熱が入り過ぎて時間オーバーとなったが、何といってもトリのらくなん奥西さんからの話が圧巻であった。面白みのある話口で、挑戦という言葉で真剣な登山への取り組み、余りに多いトレーニング量に驚かされた。

宿泊、飲み会の伴わない交流会となりましたが、総会の形式とは違うしらふでの議論に意味があったと考えます。全体にもう少し若い会員の参加が欲しかったように感じましたが、来年の課題として創意工夫を行いたいと思っています。

事務局長 西村悦治

事務局長会議報告 （各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催）

11月4日：やましな、乙訓、右京、西山、伏見、洛中、明峯、山城、亀岡、左京 10 労山報告

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・[右京]<例会>10/17～26 ヒマラヤトレキング 10+1人、19 三上山縦走 4人<予定>11/8～9 朝来山&竹田城山（キャンプと BQ）、16 秋のバスハイク大江山トレイル 4 コース<その他>11/15 新期入会者を対象に「登山の勉強会」を実施する
・[やましな]<例会>10/12～13 公開バスハイク北八ヶ岳会員 38 人、28 ハイクで俳句 9 人<予定>11/16 若狭駒ヶ岳(紅葉)、20 大原実光院<その他>40 周年実行委員会懇親会 12 月 7 日ミヤコメッセ 53 人参加予定。

・[西山]<例会>10/5 集中登山希望ヶ丘 5 コース 80 人参加予定雨で中止、17～18 九州オルレ④武雄・嬉野コース 10 人<予定>11/7 道なきポンポン山、11/16～17 九州オルレ⑤筑豊・香コース&貫山<その他>11 月 22 日第 40 回定期総会

・[乙訓]<例会>10/12 るり溪 12 人、13 白髪山と秋豆収穫体験 12 人<予定>11/2 湖南アルプス(体験可)、27 山の辺の道パート②<その他>12 月 13、14 日納山祭

・[洛中]<例会>10/25 比良釈迦岳 6 人、10/31～11/3 群馬(荒船山～立岩) 6 人<予定>11/30 アイゼントレ&ロープワーク（リトル比良）<その他>

・[伏見] <例会>10/20～21 銚子が峰 7 人<予定>11/10～11 蒜山三座縦走、23 公開ハイク大文字山 de 読図<その他>11 月全国登山研究集会 7 人参加予定

・[明峯]<例会>10/11 六甲全山縦走⑦ 5 人、12 湖南アルプス 3 人<予定>11/24 アイゼントレ白坂、29 初級山行明日香古墳巡り<その他>50 周年記念品・救急セット

・[左京]<例会>10/18～19 ウッディパル余呉&呉枯ノ峰(雨で山は竹生島に変更) 7 人<予定>11/15 ツルベ岳<その他>12 月 24 日「親睦ケーキ、ジュース用意」

・[亀岡]10/18 白尾山 9 人ヒル多し、11/3 読図教室(講師らくなん奥西さん)

・[山城]11 月 16 日青年学校（定期開催）、30 周年実行委員会立ち上げ

連盟の取り組み、活動報告 （連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告）

- ① 2025 交流会 11 月 8 日(土)。14 労山 119 名参加予定。担当亀岡、左京、やましな。
内容は 1 交流ハイク(深山)2.研修集会 3.全体集会の 3 本柱。会場は「あかまつの丘 西本梅」参加費無料。亀岡駅に送迎無料バスを用意。60 周年記念事業の一環。「京都 18 労山の交流と世代間での経験・技術の継承」に添った内容としたい。
- ② 2026 労山カレンダー申し込み、配布はじまる。1 部 800 円。11 月中旬を目途に各会から全国へ注文。各会宛て送付。代金+送料 600 円を京都労山口座へ振り込む。
- ③ 第 19 回全国登山研究会開催。11 月 15 日～16 日新大阪ユースホテル。
分科会は「筋トレ」「組織拡大・教育」「自然保護」の三つになる。

12 月の事務局長会議は、12 月 2 日(火)PM 7 時半から。WEB 専用会議とします。

自然保護委員会コーナー

林道建設から守られた八丁平の豊かな自然を次世代に引き継ごう！

八丁平視察報告

日 時：2025 年 10 月 27 日(月) 10：10～14：10 曇り時々晴れ

参加者：4 名（やましな 2、洛中 1、田辺 1）

平尾 繁和

自然保護委員会の視察は、今回で 16 回目となった。車で大原大見町・尾越町を過ぎ、狭い谷沿いの道を走り旧市有林二ノ谷管理舎の駐車場に到着。フノ坂峠から八丁平に入った。先日までの異常な夏日の連続から一転して気温が下がり、気候変動の影響を感じた。昨年（10/31）見られなかったマユミやサワフタギの実が、今回は鈴なりでピンクと瑠璃色が賑わい目を楽しませてくれた。クラガリ谷から峰床山を往復した。ブナやカエデはまだ葉もあおくて紅葉していなかった。シカの食べないイワヒメワラビとオオバアサガラが道を覆うように繁茂し、今回はベニバナボロギクがよく目についた。峰床山の山頂部は広く開け展望を楽しんだ。オオウラジロノキ（オオズミ、ヤマナシ、ヤマリンゴともよぶ）の実を探したがついに見つけることはできなかった。周回路の一部が新たに防鹿柵で囲われていて、シカ害の広がりを感じた。湿地を一周したが、防鹿柵のなかのチマキザサは昨年より大きくなり広がっていた。八丁平では、9 種類のカエデの仲間が確認されているが、オオモミジ、ウリハダカエデ、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、ヒナハウチワカエデ、コミネカエデ、イタヤカエデが確認できた。その他見かけたのは、ミズナラ、クリ、サワグルミ、ズミ、マルバマンサクなど。トリカブトの咲き残りが一本あった。また季節を変えて視察に行ってみたい。

八丁平の東西で継続している放射線測定の結果（単位 mSv）は、測定値の平均：西 0.063 (②0.071、③0.066)、東 0.037 (②0.033、③0.037)

感 想

臼井 知子

今年の八丁平で目に付いたのはオオバアサガラが増えていました。鹿が好まないと聞きますが樹皮を剥いだりもするとか。今後どうなるか気になりました。今年の夏の暑さで紅葉は遅く綺麗なマユミを見ることができたけど、緑の葉もついていました。鹿避けの網の中で笹は育っていました。耳が悪くなったためかもしれませんが鳥が少なくて寂しかったです。冬鳥は見ることはできませんでした。

射場寿美子

今年の観察会は 4 人となりにぎやかな山行となりました。八丁平に着くと鮮やかな青紫の実をつけたサワフタギと昨年は見られなかった沢山のマユミのピンク色が見られました。マユミは老木でもまだ実をつけている木、老木の横から若い枝が実をつけていたり、世代交代を見守りたいです。オオバアサガラは林のようになっていたり、見上げるような高木もあります。囲いの中の笹は昨年と比べて、多く増えているようにはみえません。会う人はなかったのですが、クマにも会わず無事に終えることができました。

牧村 富代

2020 年 11 月中旬に同じルートで、八丁平観察会に参加していました。5 年後の今回、驚いたことは、以前に腰丈ほどだったオオバアサガラが、背丈以上に成長、群生していた事です。秋の見通しの良かったその周辺はすっかり様相を変え、このままだと薄暗い林になりそうな変化でした。また峰床山の稜線でやっと紅葉らしき景色に出会うなど、八丁平はまだまだ葉が青々としていて、やはり夏の猛暑や温暖化の気候変動の影響を感じました。前回も豊作だったマユミは、今回さらに大木になっていて大粒の実が成り、他にコリンゴの赤い実やサワフタギの青い実もよく目にしました。全般に八丁平は木々が生き茂り、大木となり、自然が再生されているということなのでしょう。これから、またどんな景色になって行くのか、定期的な観察の意味を感じた観察会でした。



マユミ



サワフタギ



新たな防鹿柵



チマキザサの回復

八丁平は、3 万年前の最終氷期に形成された近畿で数少ない高層湿原で、150 種の植物が確認されている。2017 年 3 月京都丹波高原国定公園の指定により「現在の景観を極力維持する必要がある地域」である「第一種特別地域」となった。1960 年代末に始まった大原尾越から湿原を通り久多に至る林道工事による破壊の危機が迫ったが、京都労山も参加した八丁平を守る粘り強い活動が継続された結果、湿原のすぐ手前で工事をストップさせ、林道は八丁平の集水域を迂回するコースに変更され湿原の自然は守られた。その後ナラ枯れや、シカによる食害が目立ち始め、2004 年頃チマキザサの一斉開花・枯死のあと、シカが新芽や地下茎を食べてしまいササは消滅し、シカの食べないイワヒメワラビやオオバアサガラが繁茂する光景に変わった。現在防護柵で囲いササの復元が試みられている。

※「八丁平の自然」（京都市経済局農林部林業振興課）等より

遭難対策部/救助隊

「積雪期搬出訓練」のご案内

実施日：2026年1月25日（日）

受付：比良イン谷口トイレ前広場 9:00 集合

開始 9:30 解散 15:00

訓練場所：正面谷周辺

対象者：雪山ハイキングや雪山縦走をされる方、
これから参加したいと思われる方

内容：ビーコン・プローブ 訓練、負傷者の梱包、堂満第1ルンゼからの搬送

持ち物：積雪期の日帰り個人装備

ビーコン、ハーネス、シャベル、プローブ、ヘルメット、登攀装備
登攀装備は持っていなくても参加可能です。

アイゼンは原則使用しません。

（ビーコン・プローブ訓練の時は見学だけでも勉強になります）

締め切り：2026年1月18日（日）

各会にて参加者の集約をして頂き

遭難対策部右京労山・村上明彦までメールにてお申込み下さい。

アドレス vup884@wish.ocn.ne.jp

申し込み用紙は、1月「京都労山」にて配布します。

その他：当日の参加者の緊急連絡先（留守宅）は各会で把握して下さい。

＊複数回参加の方は補助講師のお手伝いをお願い致します！

「連盟冬山連絡会」のご案内

担当：京都労山 遭難対策部

日時：2025 年 12 月 5 日（金） 19:30～21:00 場所：連盟事務所

（京都市右京区花園伊町 4） ＊リモートでも参加できます

冬山に向けての「連盟冬山連絡会」を開催します。各会いろんな山行計画を立てておられると思います。

リスクのある雪山で事故や遭難を回避するための綿密な計画を立てましょう。情報交換、山行計画の確認を通しての学習を行います。また過去の事例、経験なども聞かせて下さい。

近場の雪山ハイクから北アルプスまで行先にはこだわりません。

これから計画される方も参加 OK です。

素晴らしい雪山を安全に楽しみましょう！



参加申込〆切： 11 月 28 日（金）

申込先： 遭難対策部 村上明彦（右京労山）まで

vup884@wish.ocn.ne.jp メールでお願いします

山行計画書も送付して下さい

冬山勉強会実技 1 体カトレーニング山行報告

2025 年 9 月 7 日日曜日実施

目的

- ・冬山山行に向け各人の現在の体力レベルを知りメンバーの交流と静荷重歩行を行い習得し冬山実践の為の体力をつける

行程

近江高島駅（8:00 集合・8:10 出発）～大炊神社～岳山（10:15）～鳥越（10:30）～鳥越峰（11:10）～岩阿沙利山（11:55）昼食～鶴川越～滝山（12:45）～寒風峠（13:50）～ヤケ山（14:25）～涼峠（15:15）～北小松駅（16:30 終了）

参加者 CL 坪山・小幡・澤谷

報 告

近江高島駅に集合（今回は 3 名の参加）住宅地を通り大炊神社・長谷寺の登山口から岳山へ向かう 天候は曇り時々晴れ蒸し暑い白坂が観えるところまで登ると風があり涼しく気持ち良かった。風が吹き涼しく感じられたのはこの後、雑木林の無い所数ヶ所だけで蒸し暑さのなか汗だくの山行となった。

岳山からの縦走路は雑木林のアップダウンの道で岩阿沙利山迄来ると首に巻くタオルは汗が搾れるほど汗が出た。ここまでの間、やぶ蚊に肩や背中を刺された。昼食を済ませエネルギーを蓄えヤケ山に 14 時迄に登頂を目指して歩いた。寒風峠からヤケ山への手前の登りは急登で登り甲斐があった。ヤケ山で老夫婦らしき二人のパーティーに会ったが今回初めて会った唯一のパーティーであった。

ヤケ山で計画では 14:00 迄に登頂出来たら釈迦岳に向かう予定だったがここから北小松駅へと下山する事となり北小松駅で解散した。

所要時間 8 時間 20 分 距離 12.62 km 上り 931m 下り 918m コース定数 26

報告者 澤谷雅男

ヒヤリハット・事故報告書まとめ

遭難対策部

<ヒヤリハット報告>

8月 7日 登山開始3時間30分後 75歳 女性
燕岳から常念岳コース

事 象 その他 低体温症気味

燕岳から常念岳、7合目合戦小屋で込み合っていたため風の当たるベンチで昼食後に低体温気味に。食欲もあまりなかった SL のダウンを借りて保温。

教 訓 カップやシューズに防水機能が無かったのでは、ゴアテックスでは無かった。
荷物を軽量にする為、防寒具を持ってなかった。

<ヒヤリハット報告>

8月30日 11時45分 69歳 女性
雷鳥沢～奥大日岳～大日岳ピストン

事 象 スリップ転倒 尻餅をついた

ピストンの復路、下りの細い道で登りのグループに道を譲ったが、数名かと思いきや14名と多く、かつ止まりながら登るので時間がかかる。待つスペースが狭くほぼ片足立ち。その時点でふくらはぎに痙攣が走るほど。その後登山を続けるも、急坂下りで足を滑らせ転倒。右ふくらはぎ辺りに擦り傷を負った。

教 訓 ・脚に負荷がかかり無理がある場合、登り優先でも声をかけ通してもらうことも必要と思われる。
・待つスペースで、2人で待つことになったが、後ろの人の待つ場所も確認できればよかった(1人なら余裕でも2人は狭い場合)

<ヒヤリハット報告>

8月28日 登山開始から4時間30分 74歳 男性
笠形山 仙人滝コース 標高400m

事 象 スリップ転落 尻餅をついた
下山中、平坦な道でしたが後方に転倒した。
教 訓 平坦な道でも気を付けて歩く。

<ヒヤリハット報告>

8月 2日 登山開始から5時間 70歳 女性
大雪山 旭岳 標高 2291m

事 象 こむら返り 回復し続行

旭岳から急斜面のザレ場を下山中2番目を歩いていたメンバーが転倒。見上げて起き上がるのを確認し、前に進もうと一歩踏み出したとき、下から登ってくる人に一瞬木を取られ砂利に右足を取られ尻もちをついた。その際その右足がこむら返りを起こした。

(直ちに芍薬葛根湯を服用し、10分弱休憩しこむら返りが治るのを待って下山再開した。)

教 訓 旭岳の全行程が急斜面のザレ場である為、転倒しないよう細心の注意を払い前後の間隔もしっかり取り、ゆっくり時間をかけてしたがほんの一瞬油断したことで右足を砂利にとられ尻もちをついた。
○ 一層の注意が必要と考える。

<ヒヤリハット報告>

8月 2日 登山開始から5時間 76歳 女性
大雪山 旭岳 標高 2291m

事 象 スリップ転倒 肘手をついた 受傷あり

旭岳から下山中急斜面のザレ場の砂利に右足を取られ右側に転倒その際、右肘をついた。(転倒後すぐに立ち上がり下山を再開した。宿泊先にて右肘に擦過傷があることに本人が気づきリーダーが手当てをした)

教 訓 旭岳の全行程が急斜面のザレ場である為、転倒しないよう細心の注意を払い前後の間隔もしっかり取り、ゆっくり時間をかけてしたが足の疲れから右足を砂利に取られ転倒した。
○ 一層の注意が必要と考える。

<ヒヤリハット報告>

8月22日 登山開始から5時間 59歳 女性

木曾駒ヶ岳 宝剣山荘 標高2860m

事 象 その他 高山病

宝剣山荘宿泊時、9時就寝後23:30分頃息苦しくなり同行メンバーの看護師さんに対応してもらう。

SPO2で酸素濃度測定 98~97で過呼吸の症状。体を起こしてもらい、ゆっくり息をはいて肺の中の二酸化炭素を排出。口をすぼめてゆっくりはく、口だけではだめで胸に手をおいて吐く方法で30分ぐらい続けて、本人がらくになり、その後朝まで眠られた。高山病の症状だった。

教 訓 標高が高く、小屋泊まりで耐えない中小屋の中も暑かった。
いきなり2000メートルを超えた小屋泊まりで体の順応がついていなかった為か。

<事故報告書>

9月21日 登山開始から3時30分 65才 男性
御在所岳藤内壁前尾根 P7終了点後

事 象 その他 肉離れ 中程度

1P目の登攀部分を終え、歩行に移る際に岩を渡ろうとして左足で踏み切りジャンプしたところ、振出した右足ふくらはぎにギアがあたった感触があり、着地後倒れ込む。過去の経験から肉離れと判断し、安静休憩後サムスプリントを使い、太ももから足までテープで固定して膝を曲がらないようにして下山を始める。懸垂下降で巻き道に降りた後は、痛まない足の着け方を選びつつ、途中で拾った枝の杖に頼りながら、時間を掛けて下山する。原因は順番待ちを避けるためにハイペースで取り付きまで登ったため、疲労がたまり古傷を起こしてしまったと考えられる。

教 訓 登りはじめのペースが速いと感じたときは、見栄を張らずにペース調整をすることも必要である。過去に痛めたことのある古傷は再発の可能性があると考え、意識して補強のトレーニングを日常的に取り組む必要がある。

緩傾斜の懸垂滑降は片足では困難であるので、背負いで懸垂下降を選択すべきであった。

第 47, 48 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第 47 回 活動日：2025 年 10 月 10, 11, 12 日 志賀町 輪島市町野（労山石川県連） 七尾市 走行 1012km

参加者 やましな：青山郁夫 久子

10/ 9 晴 京都 8:25—能登半島最高峰宝達山（車で山頂へ）—17:54 農遊庵泊 374km

10/10 曇 農遊庵 5:59—新旧福浦灯台—8:22 志賀町ボラセン—富来領家町, 里本江町被災者宅—空地仮置きブロック搬送—ボラセン 16:16—渤海の湯—18:25 農遊庵泊 438km

★参加者：全体で 7 人 私たちの班 3 人、軽トラ 2 台

★活動内容：2 軒の被災者宅の物品搬分別搬出、仮置き場搬送 仮置き場のブロック搬送

10/11 晴曇一時雨 農遊庵 6:26—7:14 町野ボラセン—里町長栄寺お墓の泥撤去 16:06—輪島の銭湯入浴—19:39 七尾城登山口駐車場車中泊 610km

★参加者：全体で 10 人 石川県連 8 人 京都 2 人

★活動内容：長栄寺のお墓の泥撤去

10/12 曇 農遊庵 6:52—7:08 保育園—田鶴浜被災者宅—旭町倉庫—15:43 保育園—レストランはいだるいで夕食 18:26—23:37 京都 1012km

★参加者：全員で 93 人 私たちの班 8 人 軽トラ 1 台 セレナ（6 人乗った）

★活動内容：被災者宅の物品搬分別搬出、仮置き場搬送

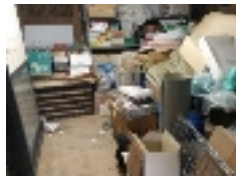
青山郁夫

今回は久しぶりに三日間の活動。志賀町、石川県連町野、おらっちゃ七尾と行ってきた。どこもが心に残る。志賀町の 1 軒目のおうちは上手く家を直せるだろうか、2 軒目のおうちの倉庫の 2 階はいつ片付けられるだろうか、町野のお墓は次の大雨で大丈夫だろうか、七尾のおじちゃんの家は無事公費解体ができただろうか。「69 年間住んだ家。せめて家の中を綺麗にして解体したいと思って家内と二人で片付けていたが出来なかった。こうしてボランティアに助けてもらい綺麗にしてもらって明後日、解体できる。本当にありがとう」の言葉が忘れられない。来て良かったなあ、喜んでもらえて良かったなあ。

青山久子

一括りに能登と言っても各地域によって事情も違うし、復興支援の取り組み方も違う。しかし県は一律に公費解体の申請は 9 月末まで、公費解体は年内にと被災者の事情を加味しない。被災者は置いてきぼり…そんな気持ちになっていたが、2 日目の石川県連のお墓の土砂を取り除いたらなんと埋もれていた階段が出てきた！3 日目の田鶴浜の公費解体を明後日に控えたお宅の片づけでは、片づけた部屋を一人のメンバーがほうきで掃いてくれた。おらっちゃ七尾に解体の日を伝えたとこ急遽翌日にもボランティアに入ってもらえるよう算段してくれた。切り捨てるのも人、救うのも人！

まだまだ、志賀町も町野も七尾も、被災者の方はボランティアの支援を待ってられます



10/10 志賀町おばちゃんのおうちと倉庫。一杯あった。ブロックを運ぶのは重かった。



10/11 先月に続いて町野のお墓の泥出し。とても綺麗になった。お墓も階段も綺麗 10/12 田鶴浜のおうち

第48回 活動日：2025年10月24日志賀町 10月25日七尾市 走行801km

参加者 やましな：青山郁夫 久子

10/23 晴 京都 11:25—七尾市太左エ門で海鮮丼—18:48 農遊庵泊 365km

10/24 晴 農遊庵 6:27—富来海岸散歩—志賀町ボラセン 9:14—大福寺被災者宅—仮置き場—志賀町ボラセン 16:15—渤海の湯—18:20 農遊庵泊 438km

★参加者：全体で21人 私たちの班4人、軽トラ2台

★活動内容：被災者宅の納屋と小屋の物品搬分別搬出、仮置き場搬送

10/25 晴 農遊庵 7:36—保育園 10:23—伊久留町の浄願寺—保育園—石崎町被災者宅他班の応援—保育園 16:50—弁天湯—23:12 京都 801km

★参加者：全体で過去最高の136人 私たちの班9人 軽トラ1台 セレナ

★活動内容：AM 浄願寺の冷蔵庫他移動 PM 被災者宅の物品分別搬出応援

青山郁夫

大福寺の一人住まいのおばあちゃんは97歳。とてもお元気だった。一つ一つ見て「これ残しといて」と予想外に多くの物を残した。意外だったのは農機具も幾つか残した。まだまだ農作業がしたいのだろう。おばあちゃん、これからも元気でね。

1532年開基の浄願寺の住職さんから色んなお話が聞けて良かった。これからも末永くお寺を守って檀家の人たちのよりどころになって欲しいと願う。

青山久子

1日目の活動で元々依頼されていた解体業者の残していったトン袋の中身の仕分けと廃棄が小屋の中の片づけを優先させてしまったためにできなかったのが心残りです。

2日目の午前中のお寺の住職さんは以前町野のお墓の土砂を掘り出したお寺の住職さんをご存じとのこと。午後からの公費解体前の片づけは家主さん含めると総勢27名。皆さん初対面の方もおられる中、気持ちを一つに丁寧に作業されていたのが心に残ります。



志賀町富来の世界一長いベンチ



10/24 小屋の中の物品分別中。一杯あった



10/25 浄願寺の冷蔵庫を慎重に運ぶ



24人で路地の奥のおうちで作業。周囲は公費解体された空地が多い

京都府連盟 ～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2025年9月27日（曇り一時雨）

やましな：郁夫、久子 右京：荒木賢子 市岡晴美 田辺：宮内毅

山科駅 8:22--9:04 林道入り口 9:11--9:26 治山ダム上部整備 9:52--9:54 安祥寺上寺跡
右俣整備 15:04--16:02 洛東高校解散

郁夫さん

荒木さん、先に出発してしまっておめんなさい。反省です。

今回は急斜面の作業で転落滑落の危険を感じた。次回からはカラビナスルー装備、登降用ダック、8mm 30m ロープも持って行き安全確保で作業をしたい。

荒木さん

お茶の白い清楚な花を見ながら山道を行くと、イノシシが、折角奇麗に積んでいた小枝を崩していたので、それをまた奇麗に積み上げ作業をする。イノシシも生活が懸かっているから致し方ないのかな？ 来月も頑張ろう！

宮内さん

今日はやりごたえのある一日でした。簡易ハーネスが役に立ちました。苦しい一日でした。でも楽しかったです。

久子さん

雨の予報を覆したかと思われたが、やはり作業中から小雨模様。今日は急斜面での作業だったが、細い倒木を6本切って斜面の木を利用して並べることができた。ようやく暑さが収まり、作業 効率も上がる季節になってきた。来月以降も安全第一で作業していきたい。



イノシシが道を塞いだ



頑張って切りました



切った木や枝は綺麗に並べています



日本勤労者山岳連盟の 第 37 回総会を招集します

地方連盟代表者
全国役員 のみなさん

2025 年 10 月 30 日
日本勤労者山岳連盟
副会長 今村 正一

日本勤労者山岳連盟 規約 第 9 条にもとづいて下記のとおり、第 37 回総会を招集いたします。

本総会では、世界平和を希求し、登山文化を広げ、組織数の回復、遭難死亡事故の撲滅、気候変動への警鐘などに積極的に取り組み、労山組織の新たな発展を探るべく、活発な 論議が期待されます。

万障お繰り合わせの上、出席くださるよう要請いたします。

記

日 時 2026 年 2 月 14 日（土）午後 1 時 開会
2 月 15 日（日）午後 1 時 閉会予定

会 場 ビジョンセンター市ヶ谷
住所 〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-21 山脇ビル 受付 3 階
電話 080-3918-8661
<https://www.visioncenter.jp/ichigaya/access/>

宿 泊 東京セントラルユースホテル
住所 〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ
18 階
電話 03-3235-1107
<https://tcyh.jyh.jp/>

議 題

- 1 第 36 期下期の活動総括と第 37 期上期（2026 年度）の活動方針
- 2 第 36 期の財政活動総括と決算報告及び 37 期の財政方針、予算の策定

3 全国連盟役員の選出、その他

- 総会構成
- (1) 地方連盟ごとの代議員は、評議会で確認された比率で選出された代議員および正副会長・理事・監事によって構成されます。
 - ※ 代議員は各地方連盟（北海道については各地区連盟）ごとに、次の比率で選出する。
1～300 人＝1 人、301～600 人＝2 人、601～1000 人＝3 人、
1001～2000 人＝4 人、2001 人以上は5 人
 - (2) 地方連盟は総会定数にしたがって代議員を選出して登録して下さい。
代議員の登録締切りは1月31日（水）必着。期限厳守のこと。
 - (3) 会員の総会傍聴者数は、当該地方連盟の代議員数を限度とします。
但し、要請があつて理事会が出席を求めた場合は、傍聴者の数を増やすことができます。
 - (4) 全国役員（正副会長・理事・監事・専門委員）は代議員になることはできません。
 - (5) 35 期下期の連盟費が12 月末に完納されていない場合、総会代議員権は保留されます（但し、連盟費の納入期限は11 月末）。
 - ※ やむをえない事情で総会に代議員を派遣できない場合でも、総会成立との関係がありますので、代議員を選出の上、総会議長宛て委任状を提出してください。書式は自由です。
 - (6) その他の必要事項
 - ① 代議員・傍聴者の登録、全国役員の登録については、代議員登録 用紙（後日送付）を使用して、1月31日（水）までに全国事務局に提出して下さい。
Eメール、FAXでも結構です。
 - ② 参加費は前回と同じ出席者1名につき5,000 円とします。
当日ご持参ください。
毎年、必ず当日に宿泊をキャンセルする方がいますが、宿泊当日のキャンセルはできません。全額いただきます。変更は1週間前まで。
遅刻・早退があつても5,000 円です。
 - (7) 代議員の交通費は2名まで支給します（領収書が必要です）。
 - (8) 各地方連盟の活動報告を「総会資料集」に掲載します。後日送付する用紙で、2026 年の1月31 日までに全国事務局までお送り下さい。
Eメール、FAXでも 結構です。

<コースタイム> 上り 1h33(2h30)/下り 1h10(1h40)/計 2h53(4h10)

<まとめ・報告>

31日(土) 自宅～大股登山口

04:00起床。軽く朝食を済ませ04:35自宅発～八幡市～木津奈良線～天理～R24～R168を経て向かう。

08:29大股登山口P着。トイレ有。5～6軒程の集落。小辺路の宿場町らしい。津田旅館がある。

08:40～集落の中を通るジグザグの急登。墓地の横を通り松林の中の登山道になる。2人抜く。

09:10 萱小屋跡の標識。道を挟んで新しい小屋が建ち広場になっていて8人休憩中。ここからは幅2m程の林道。少しアップダウンを繰り返してからブナ林・クヌギ林の中を行く。紅葉が美しい。

09:42 桧峠。2本のブナの大木。黄～橙色に色付き朝日を浴びて輝いている。ここからは緩やかな下り。左前方の樹間に伯母子岳を垣間見ながらの山行。途中で夏虫山(1348m)への登り口がある。帰りに登れたらと思いながら通過する。水場の表示があるが不明。

10:02 護摩壇山・山小屋・伯母子岳山頂との三股を直登し山頂に向かう。ここからは狭い急な道に変わりブナ等も丈が低くなって来た。

10:13 伯母子岳(1344m)登頂。ほぼ同時に山小屋方面から2人登って来たので写真を撮り合う。木が余り生えておらずツツジの低木がまばらにあるだけの見通しが良い広く開放的な山頂。東へ赤谷峰方面へ下ると山小屋があり、ここで南へ折れて熊野大社へと小辺路が続いている。西には口千丈山～奥千丈山～護摩壇山へと続く縦走路。そこから又2人登って来た。少し霞んではいるが360度の眺望。北東には大峰山脈の山々が連なっている。皆思い思いに寛ぎ山座同定を楽しんでいる。「あの尖っているのが釈迦ヶ岳」と教えてくれた。軽く昼食。

10:23～下山。三股を過ぎたが夏虫山への登り口は見つからず先程の登山口迄戻ってから往復する時間は無く断念。初めに追い越した2人と萱小屋で休んでいた8人とすれ違う。縦間越しに伯母子岳を写すポイントを探しながら歩く。

10:52 桧峠。ここからはブナやクヌギの黄葉・紅葉を楽しみながら歩く。1人すれ違う。

11:13 萱小屋跡まで戻って来た。小屋の横に水場があり1口飲む。林業作業用の小屋らしく中には囲炉裏が作ってある。トイレもあるが鍵をかけてある。

11:16～ジグザグの急坂を下る。萱小屋付近に止めてあった軽トラはこのジグザグ道をどの様に方向転換を繰り返しながら下って行ったのだろうか。

11:33 大股登山口P着。熊野古道の1つ高野山～熊野大社へと続く小辺路の一部を初めて歩く。一部分だけではあるが感慨深い。いつかは小辺路も縦走したいものだ。

11:44～平家落人の村を通して釈迦ヶ岳へ向かう。平集落には旧学校らしい宿泊施設等があった。



伯母子岳にはこの後会の山行で2014年11月7日(金)～8日(土)で高野山と併せて護摩壇山からの縦走も、2022年3月31日(木)～4月4日(月)での小辺路の縦走でも登った。

小辺路の時は高野山からの途中で冷たい雨に降られ宿の人に車で迎えに来て貰った。夜になって雨は雪に変わり、翌朝は綺麗に晴れ上がり宿の周りは思わぬ雪景色になっていた。大股から登るにつれ雪が段々深くなり山頂では5cm程も積っていたのを思い出す。

大股登山口からは無理でも護摩壇山からの縦走コースなら家族も登れるかも知れない。こうやって山行記録をまとめながら秋の紅葉の美しい頃にもう一度登ってみたいとなった。



12月号案内

表紙の写真

屋根谷 克己 さん (らくなん山の会)

皇帝ダリア

前は家の庭にも咲いていたのですが、大きくなりすぎて近所の人にあげたのが咲いています。



*11月8日に小学校跡地「あかまつの丘西本梅」にて連盟交流会が行われました。

初めての試みとして午前中は交流登山と研修集会参加の2組に分かれての取り組みが行われました

交流登山は790mの深山。研修集会は会員拡大、各会の交流と世代間での経験・技術の継承をテーマに自由に話し合われました。

また読図の仕方やYAMAPなどについても説明があり、率直な悩みなども出されていました。午後の全体集会ではベテラン会員の山行やトレーニングについての紹介があり、その元気な姿に参加者一同感銘を受けました。またクマ対策として炊飯器のお釜を利用したWA0 亀岡会員手作りの鐘も披露されました。

<お知らせ>

表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方」など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

*原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

*字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2025年/2026年 京都府連盟 月間予定表

1 2 月 (師走・DEC)		
1	月	自然保護委員会
2	火	事務局長会議
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	大文字山登山道整備
7	日	
8	月	常任理事会
9	火	
10	水	
11	木	冬山勉強会「雪崩の危険性・行動判断」
12	金	
13	土	自然保護セミナー(教文301)
14	日	
15	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
16	火	教育委員会
17	水	創立60周年実行委員会
18	木	
19	金	
20	土	自然保護セミナー観察会(巨椋池) 冬山勉強会「滑落停止とアイゼン歩行」 連盟事務所大掃除 午後1時～
22	日	冬山勉強会「滑落停止とアイゼン歩行」
22	月	常任理事会
23	火	
24	水	女性委員会
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

1 月 (霜月・NOV)		
1	木	元日
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	自然保護委員会
6	火	事務局長会議
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	冬山勉強会・冬山テント泊と歩行訓練
12	月	成人の日 冬山テント泊と歩行訓練
13	火	常任理事会
14	水	
15	木	
16	金	やまびこ利用日
17	土	大文字山登山道整備
18	日	
19	月	常任理事会 京都労山印刷 (ハイキング委員会)(遭難対策委員会)
20	火	教育委員会
21	水	創立60周年実行委員会
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	積雪期搬出技術講習会
26	月	常任理事会
27	火	気象勉強会
28	水	女性委員会
29	木	
30	金	
31	土	